

一般社団法人 日本コンクリート診断士会
平成27年度（第6回）定時社員総会資料

平成27年5月26日(火)

議 案

- 第1号議案 平成26年度事業および収支報告
第2号議案 平成27年度事業および収支計画
第3号議案 細則改訂（部会長会議設定）

報 告

- (1) 各地区コンクリート診断士会活動報告と計画
(2) 会員数等報告
(3) 参加委員会活動報告
(4) 理事・監事・幹事 一覧
(5) その他

特別講演 演題：新潟地域におけるインフラの維持管理
－技術者育成の取り組みと今後の展望－
長岡技術科学大学名誉教授 丸山 久一 殿

JCD

第1号議案 平成26年度事業および収支報告(案)

1. 平成26年度事業報告(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

1.1 第5回定時社員総会

平成26年5月27日 場所：(公社)日本コンクリート工学会 会議室 正会員出席者56名
委任状出席者510名 合計議決権数566名(議決権数1079名)52%
(賛助会員, 法人会員:13名)

平成25年度事業報告・収支報告, 平成26年度事業計画・収支計画, 行動規範について審議し承認された。

各地区診断士会より活動報告・計画が報告された。

東日本旅客鉄道(株)顧問兼 JR 東日本コンサルタンツ(株)取締役会長の石橋忠良氏による「地震被害と復旧, 今後の対策」について特別講演があった。

2. 各部会報告

2.1 企画部会

(1) 第5回定時社員総会開催

平成26年5月27日(火) 場所：公益社団法人日本コンクリート工学会会議室

平成25年度事業報告・収支報告, 平成26年度事業計画・収支計画, 各部会活動報告と今後の計画, 細則改訂, 理事・監事改選

総会については上記1.1のとおりである。

(2) 理事会開催

総会当日に理事会を開催した。

必要に応じてメールにより随時理事会を開催した。

幹事会報告等について, 各部会からの意見に基づき審議した。

年間19回開催した。

活動実績は別紙1のとおりである。

(3) 幹事会

理事会の指示および年度計画に基づき懸案事項について検討した。

年間6回開催した。

活動実績は別紙2のとおりである。

(4) 日本コンクリート診断士会の現状の課題と今後の活動(案)について検討した。

日本コンクリート診断士会の主な活動の実績と成果

日本コンクリート診断士会の現状の課題

日本コンクリート診断士会の役割と地区のコンクリート診断士会の役割(案)

既存事業のブラッシュアップ(案)

新規事業の企画(案)

上記, 「日本コンクリート診断士会の現状の課題と今後の活動(案)」の資料の作成

(当資料については, JCDのHP会員専用ページを参照)

(5) 部会長会議の新設・開催

部会長会議を3月31日に開催した。

(6) JCIとの意見交換会を開催

JCI と民間資格認定制度について意見交換会を開催した。

(7) 各地区診断士会同士の交流促進

JCD と各地区診断士会との役割を整理した。

(8) 既存事業のブラッシュアップと新規事業の企画や提案

既存事業のブラッシュアップや事業推進のためのサポートを行った。

JCD として行う新規事業の企画や提案を行った。

2.2 技術部会

(1) 第 2 回全国業務体験発表会の開催

実施方法について再検討するとともに、一層有意義な情報交換の場となるよう計画し、下記の通り開催した。

開催日時：平成 26 年 11 月 28 日（金）13:00～17:00

開催場所：JCI 会議室，発表件数：10 件，参加者：71 名（詳細は JCD の HP 参照）

(2) 講師派遣

地区診断士会等からの研修会・講演会等の講師派遣要請に対して、講師の紹介や、適任者を選定し派遣した。

下記の通り講師派遣を行った。

- ・ 静岡コンクリート診断士会開催のコンクリート診断士受験対策セミナー
- ・ 高知県コンクリート診断士会開催のコンクリート診断士受験対策講座

(3) 受託業務対応

建造物の維持管理等の受託業務（定款第 3 条（4））への対応は、受託の可否を含めて基本方針を検討し、要請があった場合にはリスク等を十分考慮し、慎重に対応した。

受託業務対応は下記の通りであった。

- ・ 事業計画では「要請があれば慎重に対応する」となっており、一般戸建住宅の駐車場コンクリートの変状対応、火害を受けたコンクリートの健全性評価等要請があり調整したが、サービスの技術指導に留まり、契約には至らなかった。
- ・ 高知県の岸壁，灯台の劣化調査についての依頼は、高知県コンクリート診断士会に対応を依頼した。
- ・ 受託業務に対する基本方針の検討は行われなかった。

(4) 関連委員会等へ参加

現在参加している JCI のサステナビリティ委員会，インフラドック委員会に引き続き参加し情報共有と、当会としての役割を果たした。

土木研究所建造物メンテナンスセンターのシーザー技術交流会へ参加し、情報の共有化に努めた。

JCI の「インフラドック委員会」は 25 年度から本格的に活動し、診断士の役割明確化，資質向上，発注者への PR 等を積極的に支援した。

(5) 技術情報収集と会員への共有化

会員からの技術情報やトピックス等を募集し，全会員への有用な情報を提供した。

行政，学会，JCI などの主なトピックス，各地区で実施している取組み，新聞記事等の情報を共有化

した。

広報部会と協働してメールかわら版の発行を支援した。

- (6) コンクリート診断士受験者支援と診断士の資格所有者に対する技術力向上支援等への対応，社会的な期待に応えるべく，診断士受験・診断技術ブラッシュアップ講座などを開催するとともに，各地区での同種講習会の計画に対して，講師派遣，資料紹介等の支援を行った。

コンクリート診断士受験対策講座他を下記の通り開催した。

- ・5月10日（土），11日（日）の二日間で受験対策およびブラッシュアップ講座を開催し，45名が受講した。（会員6名，一般39名）
- ・6月21日に直前講座として講習会を開催し24名が受講した。
- ・テキストには技報堂出版から出版した「コンクリート診断士 受験対策講座」および「コンクリート診断士受験のための計算問題攻略講座」を使用した。
- ・本受験対策講座は東京コンクリート診断士会と共催で実施した。

2.3 広報部会

- (1) メールかわら版の発行

本年度から個人会員へ直接メール送信して関連情報の共有化を図るメールかわら版を技術部会と協働して発行した。

本年度は2回発行（2014.10.3，2015.3.20）した。

- (2) ホームページの充実

地区診断士会活動紹介，技術情報，催し物情報，特に地区診断士会からの情報提供による情報等を掲載した。

- ・ホームページについて下記の事項を実施した。
- ・随時ホームページを更新し，各種行事開催予定などの情報を速やかに会員へ提供した。
- ・計画していた法人会員の保有技術について，申請のあった法人会員の保有技術をホームページに掲載した。

- (3) 関連官公庁等へのPR

国土交通省，都道府県，高速道路各社，土木研究所等へ当会の紹介と診断士制度活用についてPRするとしたが今年度はできなかった。なお，TCDでは10年記念セミナーに国交省総合政策局社会資本整備担当の中原参事官を講師に招き，講演していただくなど当会のPRを行った。

- (4) 関連催し物の後援

JCI，関連団体等で実施する本会の目的に合致する催し物を積極的に後援し，認知度向上と関連団体との連携強化を図った。

情報交換についての実施結果は次のとおりである。

- ・各団体等で実施した関連講習会開催情報を，地区診断士会等にメールでお知らせした。

催し物の後援・協賛の実施結果は次のとおりである。

- ・JCI「コンクリートサステナビリティフォーラム講習会」2014年11月14日を後援した。
- ・コンクリートメンテナンス協会「コンクリート構造物の補修・補強に関するフォーラム2014」を後援した。

2.4 会員部会

(1) 空白地区の診断士会設立促進・支援

特に関西、東北、四国、九州地区の診断士会設立のために引き続き支援活動をした。

会員部会が中心となり、企画・広報部会と連携し、具体的な計画を検討し実行した。

新規に診断士会を設立したが、まだ当会に所属していない山口県、熊本県、宮城県、設立を検討している地区には、香川県、長崎県、奈良県等がある。

診断士会設立等について実施結果は次のとおりである。

- ・山口県コンクリート診断士会設立総会に出席し、小野副会長が講演を行った。
- ・宮城県コンクリート診断士会にJCD会長名で入会の案内を送付した。

(2) 個人会員、法人会員増に対する活動

JCIの診断士更新講習会等のチャンスを活用して入会へのPRを実施した。

コンクリート診断、補修・補強業務に関係の深い企業に対し、積極的に法人会員へ入会へのPRを随時実施し、法人会員の増加を図った。

法人会員拡大計画について実施結果は次のとおりである。

- ・随時関係者に入会について案内をした。
- ・計画ではA会員1社、B会員1社、C会員4社の合計6社入会としたが、実績はA会員1社、B会員1社、C会員3社(2社退会)で、現在法人会員は69社である。なお、昨年度末の会員数は66社である。

2.5 財務部会

(1) 当会の定款に定められた事業計画を実行するための健全な財務体質を構築した。

中間決算を行い、健全な財務の執行に努めた。

(2) 当会の財務の執行状況を適時確認し、必要に応じて事務局と協働して適正化を図った。

2.6 事務局

(1) 会長、副会長、理事間、各部会間、地区診断士会間の連絡調整

会長、副会長、各理事、各部会活動および各地区診断士会活動連携強化の支援を行った。

(2) 会員管理の充実

会員名簿等の会員情報の更新、会員証発行、地区診断士会との調整等確實かつ円滑に実施した。

新規入会者に対して6月、10月の2回にまとめて会員証を発行した。

個人会員証の裏に行動規範要約を印刷し、これを携帯することにより、会員の倫理意識の向上を図った。

会員管理に関する実施事項は次のとおりである。

- ・法人会員、個人正会員、個人賛助会員の追加会員証を作成し配布した。
- ・地区診断士会が取りまとめた個人会員名、連絡先等の会員名簿を定款11条に基づき整備・保管を実施した。

(3) 事務局業務の効率化、簡素化

予算管理、確定申告、ホームページ更新等の年間事務局業務を整理し、効率化と経費節減に努力した。

- ・事務局業務の効率化等の結果、事務局経費は約10%削減できた。

(4) 部会・幹事会活動の支援

各部会・幹事会活動が円滑に推進できるように支援した。

本年度は新たにメールかわら版を発行したので、実施体制整備を支援した。

部会・幹事会活動支援の活動実績は次のとおりである。

- ・幹事会については、別紙2のとおり企画部会を支援した。
- ・部会長会議が新たに企画部会から提案があり平成27年3月31日に開催した。

(5) その他業務

当会の目的を達成するための諸業務を実施した。

以上

監査報告

平成27年 4月 13日

一般社団法人日本コンクリート診断士会

監査の結果、いずれも適法かつ正確であることを認めます。

平成27年 5月15日

監

事 伊藤 司郎



監

事 田畑 雅幸



第2号議案 平成27年度事業および収支計画（案）

1. 平成27年度事業計画（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

1.1 企画部会

(1) 第6回定時社員総会開催

平成27年5月26日（火） 場所：公益社団法人日本コンクリート工学会会議室

平成26年度事業報告・収支報告，平成27年度事業計画・収支計画，各部会活動報告と今後の計画，細則改訂。

(2) 理事会開催

総会当日に理事会を開催する。

必要に応じてメールにより随時理事会を開催する。

幹事会報告等について，各部会からの意見に基づき審議する。

メールによる理事会のメーリングリスト化について検討する。

(3) 幹事会

理事会の指示および年度計画に基づき懸案事項について検討する。

必要に応じて随時開催する。

概ね年間6回程度開催を目標とする。

(4) 国土交通省による技術者資格登録に関する情報収集およびその対応

日本コンクリート工学会との意見交換会の開催，定例化の推進（部会長会議との併催を定例化）

他団体や他機関への技術委員の派遣，技術支援の強化

(5) 部会長会議の開催（2回程度）

「日本コンクリート診断士会の現状の課題と今後の活動（案）」の推進

他部会の活動のサポート

(6) 各地区診断士会同士の交流促進

各地区診断士会同士の交流を推進するための事業を企画，推進する。

(7) 既存事業のブラッシュアップと新規事業の企画や提案

既存事業のブラッシュアップや事業推進のためのサポートを行う。

JCD として行う新規事業の企画や提案を行う。

1.2 技術部会

(1) 第3回全国業務体験発表会の開催

→地方での開催，隔年（1回/2年）開催

昨年度まで2回東京で実施した「全国業務体験発表会」を本年度は石川県（金沢）で開催する。

実施方法について再検討するとともに，一層有意義な情報交換の場となるよう計画する。

(2) 講師派遣

地区診断士会等からの研修会・講演会等の講師派遣要請に対して，講師の紹介や，適任者を選定し派遣する。

(3) 受託業務対応

構造物の維持管理等の受託業務（定款第3条（4））への対応は，受託の可否を含めて基本方針を検討する。

要請があった場合にはリスク等を十分考慮し、慎重に対応する。

(4) 関連委員会等へ参加

現在参加している JCI のサステナビリティ委員会に引き続き参加し情報共有と、当会としてできる範囲で支援を行う。

土木研究所構造物メンテナンスセンターのシーザー技術交流会へ参加し、情報の共有化に努める。

(5) 技術情報収集と会員への共有化

会員からの技術情報やトピックス等を募集し、全会員への有用な情報を提供する。

行政、学会、JCI などの主なトピックス、各地区で実施している取組み、新聞記事等の情報を共有化する。

広報部会と協働してメールかわら版の発行を支援する。

(6) コンクリート診断士受験者支援と診断士の資格所有者に対する技術力向上支援等への対応、社会的な期待に応えるべく、診断士受験・診断技術ブラッシュアップ講座などを開催するとともに、各地区での同種講習会の計画に対して、講師推薦・派遣、資料紹介等の支援を行う。

1.3 広報部会

(1) メールかわら版の発行

発行回を増やす

個人会員へ直接メール送信して、関連情報の共有化を図るメールかわら版を、技術部会と協働して発行する。

本年度は 4 回発行を予定している。新県→福井→金沢、信越

(2) ホームページの充実

地区診断士会活動紹介、技術情報、催し物情報、特に地区診断士会からの情報提供による情報等を掲載する。

(3) 関連官公庁等への PR

国土交通省、都道府県、高速道路各社、土木研究所等へ当会の紹介と診断士制度活用について PR する。

以上、広報部会内で具体的な活動計画を作成し実行する。

(4) 関連催し物の後援

JCI、関連団体等で実施する本会の目的に合致する催し物を積極的に後援し、認知度向上と関連団体との連携強化を図る。

1.4 会員部会

(1) 空白地区の診断士会設立促進・支援

山口 奈良設立 水谷の方向

特に関西、東北、四国、九州地区の診断士会設立のために引き続き支援活動をする。

会員部会が中心となり、企画・広報部会と連携し、具体的な計画を検討し実行する。

新規に診断士会を設立し、まだ当会に所属していない山口県、熊本県、宮城県、または設立を検討している地区には、香川県、長崎県、奈良県等がある。富山県も入会の決意が協会に示唆。

(2) 個人会員、法人会員増に対する活動

44 地区に入会を呼びかけ

診断士更新講習会等のチャンスを活用して入会への PR を実施する。

コンクリート診断、補修・補強業務に関係の深い企業に対し、積極的に法人会員へ入会への PR を随時実施し、法人会員の増加を図る。

奈良県 山形県 岩手県 富山県 新潟県 山梨県 長野県 岐阜県 静岡県 愛知県 三重県 滋賀県 京都府 大阪府 兵庫県 奈良県 和歌山県 徳島県 香川県 愛媛県 高知県 福岡県 佐賀県 熊本県 大分県 鹿児島県 沖縄県

→ 福岡 佐賀 熊本 → 埼玉 神奈川 → 山形 福島 → 新潟 富山 → 長野 岐阜 → 山梨 静岡 → 愛知 三重 → 滋賀 京都 → 大阪 兵庫 → 奈良 和歌 → 徳島 香川 → 愛媛 高知 → 福岡 佐賀 → 熊本 大分 → 鹿児島 沖縄

熊本県医師会/会報「健康」印刷の費用が大きい。

 ↳ 将来的には改訂は個人が担当する体制にする。

 又、JCDのCD-ROMの印刷費も削減

1.5 財務部会

- (1) 当会の定款に定められた事業計画を実行するための健全な財務体質を構築する。
- (2) 効率的な活動を実施するため、収入増加、支出削減対策を検討・実施する。
- (3) 当会の財務の執行状況を適時確認し、必要に応じて事務局と協働して適正化を図る。

1.6 事務局

- (1) 会長、副会長、理事間、各部会間、地区診断士会間の連絡調整

 会長、副会長、各理事、各部会活動および各地区診断士会活動・連携強化の支援を行う。
- (2) 会員管理の充実

 会員名簿等の会員情報の更新、会員証発行、地区診断士会との調整等確実かつ円滑に実施する。

 新規入会者に対して6月、10月の2回にまとめて会員証を発行する。

 個人会員証の裏に行動規範要約を印刷し、これを携帯することにより、会員の倫理意識の向上を図る。
- (3) 事務局業務の効率化、簡素化

 予算管理、確定申告、ホームページ更新等の年間事務局業務を整理し、効率化と経費節減に努力する。
- (4) 部会・幹事会活動の支援

 各部会・幹事会活動が円滑に推進できるように支援する。

 本年度もメールかわら版の発行を支援する。
- (5) その他業務

 当会の目的を達成するための諸業務を実施する。

以上

9/11 高松島合同記念事業
 会所 私立 恭賀詞
 11/11 熊本診断士会 魚本先生、研製

◎ 学級要綱の中
 「学校が請ねる文言」を県の要綱から
 削除

2. 平成27年度収支計画(案)

平成27年度(平成27年4月1日～平成28年3月31日)の収支計画(案)を表-2に示す。

表-2 平成27年度の収支計画(案)

収支	No.	項目	種別	数量	単位	単価	収入	支出	合計	26年度実績	25年度実績	備考	
収入		前年度繰り越し		1	式	1,083,777	1,083,777		1,083,777	1,104,851	854,213	27年度分には前受金120000円を含む	
	1.1	会費	法人会費	SA	0	社	100,000	0	2,513,000	1,981,850	1,866,500		
				A	14	社	50,000	700,000					
				B	10	社	30,000	300,000					
				C	50	社	10,000	500,000					
			個人会費	個人分	1300	人	800	1,040,000					
				法人分	-50	人	2,200	-110,000					法人登録分
				個人分	11	人	3,000	33,000					
			入会金	法人分	5	社	10,000	50,000					
				個人分	0	人	3,000	0					
		2.1	雑収入	受託業務	1	式	0	0	686,000	1,774,935	1,411,930		
		2.2		受験講座講習会	1	式	339,000	339,000		826,000			27.5月開催予定、前受金は減額
		2.3		直前講座講習会	1	式	187,000	187,000					27.6月開催予定
		2.4		講師派遣等	1	式	160,000	160,000					静岡
			雑収入2						290,000				
	2.5		業務発表会参加費	1	式	120,000	120,000					2000円*60名	
	2.6		講習会28年度分	1	式	0	0					前受金	
	2.7		交流会参加費	1	式	170,000	170,000					総会および業務体験発表会後	
	2.8		その他	1	式	0	0						
	2.9		受取利息	1	式	0	0						
								計	4,572,777	5,687,636	4,132,643		
支出	4	運営費	事務費						1,660,000	1,574,963	1,703,512		
	4.1.1		事務局人件費	12	式	90,000		1,080,000					
	4.1.2		事務所経費	12	月	30,000		360,000					
	4.1.4		資料作成費等	1	式	10,000		10,000					
	4.1.5		事務用品費	12	式	2,000		24,000					
	4.1.6		HP維持管理費	12	月	5,000		60,000					
	4.1.7		通信費	12	式	6,000		72,000				電話代、プロバイダー費含む	
	4.1.8		荷造り送料	1	式	5,000		5,000				宅急便他	
	4.1.9		会員証作成費	100	枚	20		2,000				定期発行は5年に1回	
	4.1.10		振込手数料他	1	式	2,000		2,000					
	4.1.11		租税公課	1	式	5,000		5,000					
	4.1.12		その他	1	式	40,000		40,000				図書、ソフト他	
	4.2		総会費						156,000	155,127	66,660		
	4.2.1			特別講演費	1	式	56,000		56,000				
	4.2.2			資料印刷費	70	部	300		21,000				
	4.2.3			椅子他費用	1	式	19,000		19,000				
				その他	1	式	60,000		60,000				総会後交流会分
	4.3		行事費						276,000	186,876	111,440		
	4.3.1			業務発表会	1	式	106,000		106,000				資料印刷費、会場費他
	4.3.2			セミナー費	1	式	0		0				各地区と共催し、地区で負担
	4.3.3			見学会費	1	式	0		0				各地区と共催し、地区で負担
				交流会費	1	式	170,000		170,000				
	4.4		宣伝広告費						130,000	130,000	28,060	0	HPの改定を含む
	4.5		活動費						215,000	122,230	44,375		
				理事会	1	式	60,000		60,000				
				理事会資料他	1	式	5,000		5,000				
				部会活動費	5	部会	30,000		150,000				
	4.6		役員活動交通費						420,000	298,310	132,230		委員会参加交通費を含む
				事務局交通費	12	月	10,000		120,000				
				役員活動交通費	1	式	300,000		300,000				部会長会議、幹事交通費他
4.7		委託・講習会関係						726,260	1,318,873	892,575			
4.7.1			外注費	1	式	0		0					
4.7.2			受験講座講習会	1	式	393,260		393,260					
4.7.3			直前講座講習会	1	式	185,200		185,200					
4.7.4			講師派遣他	1	式	147,800		147,800					
4.7.5								0					
4.8		法人税等						99,800	93,400	77,000		法人税等26年度分	
4.8.1			法人所得税	1	式	17,600		17,600					
4.8.2			法人住民税	1	式	25,300		25,300					
4.8.3			事業税	1	式	5,000		5,000					
4.8.4			法人市民税	1	式	51,900		51,900					
5		予備費(繰越金)						889,717	889,717	1,104,851		法人税は25年度分で計算	
								合計	4,572,777	4,572,777	0	4,861,636	

第3号議案 細則の改訂

項目	改訂前	改訂後
3章 12条追加	—	<p>(部会長会の設置)</p> <p>第12条 各部会の相互の連携，連絡調整を図るため，部会長会を設置する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 2. 主催は企画部会とする。 3. 会議は必要に応じて開催し，理事会に議事内容の報告や提案を行う。 4. 会の構成メンバーは，会長，副会長，各部会長，事務局長とするが，参加を希望する他の理事，監事，地区診断士会代表の出席を妨げない。
12条～16条	12条～16条	13条～17条

以上

別紙1 (企画部会)

理事会活動実績 (メールによるものの日付は発信日)

- 第 26-01 回 H26.04.10 : ・ 第 5 回定時社員総会附議事項承認について。
- 第 26-02 回 H26.05.02 : ・ コンクリート診断士受験 直前講座開催承認について。
・ プロジェクター購入承認について。
- 第 26-03 回 H26.05.27 : ・ 第 5 期理事候補, 地区会からの出席者紹介。(東京にて会議)
・ JCD 第 5 回定時社員総会の進め方と役割分担について。
・ 各部会の本年度の活動計画等について。
・ メールかわら版について。
・ その他。
- 第 26-04 回 H26.06.25 : ・ 第 2 回業務体験発表会企画について。
- 第 26-05 回 H26.07.02 : ・ 池田 秀司氏 個人正会員入会承認について。
- 第 26-06 回 H26.07.07 : ・ 平成 25 年度決算書について。
- 第 26-07 回 H26.07.07 : ・ 岐阜大学 国枝 稔教授の学会会員承認の件。
- 第 26-08 回 H26.07.15 : ・ 宮川 武司氏個人会員入会承認について。
・ 天野 智雄氏幹事推薦について。
- 第 26-09 回 H26.07.30 : ・ 株式会社 中研コンサルタントの法人会員 B の入会について。
- 第 26-10 回 H26.09.25 : ・ シバタ工業株式会社 法人会員 C 入会について。
- 第 26-11 回 H26.11.27 : ・ JCD 第 26-5 幹事会報告に関するコメント。
- 第 26-12 回 H26.12.09 : ・ 社会資本整備審議官・交通政策審議会技術分科会技術部会
第 1 回技術者資格制度小委員会 資料。
・ 同上榜聴メモ。
・ JCI の国土交通省民間資格登録制度対応に問う手のヒアリング報告。
- 第 26-13 回 H27.01.15 : ・ 日本躯体処理株式会社の法人会員 A への入会承認。
- 第 26-14 回 H27.01.24 : ・ 平成 27 年度診断士受験・診断技術ブラッシュアップ講座開催について。
- 第 26-15 回 H27.02.10 : ・ 1 月 22 日開催の幹事会議事録送付に対する意見。
- 第 26-16 回 H27.02.04 : ・ 部会長会議開催について。
- 第 26-17 回 H27.02.18 : ・ 国交省資格認定についての JCI 対応について。
- 第 26-18 回 H27.03.16 : ・ コンクリートメンテナンス協会主催の「コンクリート構造物の補修・補強に関するフォーラム 2015」の後援について。
- 第 26-19 回 H27.03.24 : ・ 株式会社 アミックの法人会員 種別 C へ入会承認について。

別紙2 (企画部会)

幹事会活動実績

- 第26-1回 平成26年4月5日(土) 14:10~16:10 事務局にて
- ・第5回定時社員総会の案内について。
 - ・第5回定時社員総会の附議事項確認, 報告事項確認について。
 - ・年間行事計画について
 - ・平成25年度 第3回幹事会に対する理事等のご意見について。
 - ・メールかわら版発行について。
 - ・診断士受験対策講座について。
- 第26-2回 平成26年7月5日(火) 15:00~17:40 事務局にて
- ・メールかわら版企画について。
 - ・第2回業務体験発表会企画について。
 - ・コンクリート診断士受験対策セミナー他報告と来期への改善案, 決算について
 - ・国交省道路の老朽化対策の本格的実施に関する提言への対応について
 - ・天野氏の幹事会メンバーの申請について
- 第26-3回 平成25年9月6日(月) 15:20~17:40 事務局にて
- ・メールかわら版実施計画について。
 - ・第2回業務体験発表会企画について。
 - ・セメントジャーナル社創業50周年特集 祝辞の寄稿文作成について。
- 第26-4回 平成26年10月21日(水) 11:35~12:10 アンニンファンファンにて
- ・第2回業務体験発表会実施について。
 - ・メールかわら版第2号発刊について。
 - ・その他: 未加入地区診断士会他について。
- 第26-5回 平成26年11月11日(水) 15:20~17:15 事務局にて
- ・第2回業務体験発表会について。
 - ・メールかわら版第2号発刊について。
 - ・来年度の活動基本方針について。
- 第26-6回 平成27年1月22日(水) 14:15~14:45, 17:00~17:40 事務局にて
- ・メールかわら版第2号発行計画について。
 - ・来年度活動計画と総会準備について。

報告(1) 各地区コンクリート診断士会活動報告および計画

会の名称 (地域)	設立年月 員数(年月) (個人): 名 (法人): 社	平成26年度活動報告	平成27年度活動計画
福井県コンクリート診断士会 (福井県)	平成16年3月 員数(427.5.9) 個人: 105名 賛助法人: 27社 賛助個人: 4名	・研修会 計8回の開催(現場見学会4回, 座学形式のセミナー4回) ・福井県道路メンテナンス会議への協力, 講師の派遣 ・福井県内市町村自治体職員向け研修会(基礎講座)への講師の派遣 ・福井県主催「フライアウツコンクリート活用セミナー」への講師の派遣 ・SIP(内閣府, 金沢大学)への参画 ・コンクリート診断士受験対策セミナー(福井県主催)への講師の派遣(計2回), 後援 ・フクイ建設技術フアエアへの参画 ・福井大学の一般教養での授業 ・北陸道路研究会での発表「福井県コンクリート診断士会 10年のあゆみ」 ・会員交流事業「私をスキニーに連れてつづ」の開催 ・ホームベージュのデザイン・コンテンツの刷新	・研修会の開催(7回程度) ・福井県道路メンテナンス会議への協力, 講師の派遣 ・福井県道路メンテナンス会議における福井県コンクリート診断士会員の授与 ・SIP(内閣府, 金沢大学)への参画, 連携 ・コンクリート診断士受験対策セミナー(福井県主催)への講師の派遣, 後援 ・フクイ建設技術フアエアへの参画の出席 ・大学や高専など, 教育機関との連携 ・会員交流事業の開催
鳥取県コンクリート診断士会 (鳥取県)	平成17年5月 員数(427.4) 個人: 42名 法人: 17社	①役員会(5回開催), ②第9回通常総会, 技術交流会(林 静雄 会長講演) (H26.5.22), ③講師派遣(構造物診断, 補修, ひび割れ抑制対策) (H26.6.10), ④鳥取県要望書提出(コンクリート診断士活用について) (H26.6.26), ⑤講師派遣(コンクリート耐久性等の品質向上検討委員会: 年2回派遣) ⑥技術委員会役員会(活動内容) (H26.7.2), ⑦後援依頼(コンクリート構造物の長寿化対策) (H26.8.22), ⑧技術研修会開催(最新の調査技術, 劣化と補修・補強技術) (H26.10.9), ⑨山陰両県(鳥取県・島根県)コンクリート診断士会設立10周年記念大会準備委員会(3回開催), ⑩現場見学会(旧美敷水源地施設: 国の重要文化財) (H27.4.21)	①通常総会 (H27.6.10), 技術交流会 (NEXCO 講師予定), ②技術講習会 (2回程度予定), ③現場見学会 (2回程度予定), ④鳥取県要望書提出 (コンクリート診断士活用) ⑤講師派遣 (各委員会及び技術研修), ⑥山陰両県 (鳥取県・島根県) コンクリート診断士会設立10周年記念大会開催 (H27.9.11)
島根県コンクリート診断士会 (島根県)	平成17年6月 員数(427.4) 個人: 74名 法人: 2社	①第1回理事会 (H26.4.19), ②診断士試験受験準備講習会 (H26.6.13), ③総会及び研究発表会 (H26.6.14), ④第2回理事会 (H26.9.20), ⑤見学会 (H26.9.8&10.2), ⑥技術研修会 (H26.11.21), ⑦第3回理事会 (H27.2.21), ⑧新春例会 (H27.2.21)	①第1回理事会 (H27.5.16), ②診断士試験受験準備講習会 (H27.6.19), ③総会及び研究発表会 (H27.6.20), ④土木技術講習会 (H27.8.21), ⑤設立10周年記念大会 (H27.9.11), ⑥見学会 (H27.秋頃), ⑦第2回理事会 (H27.10頃), ⑧新春例会 (H28.2頃), ⑨第3回理事会 (H28.3頃)
東京コンクリート診断士会 (関東)	平成17年11月 員数(427.4) 個人: 190名 法人: 会員制度なし	①平成17年度通常総会 (H26.5.27) 出席者 123名 (委任状含む), ②JCDと共催で診断士受験対策講座 (H26.5.10, 11) 受講者 24名, ③JCDと共催で診断士受験対策直前講座 (H26.6.21) 受講者 24名, ④第17回技術セミナー (H26.10.22) 参加者 71名, ⑤第18回技術セミナー (H27.1.27) 参加者 79名, ⑥第9回現場見学会と共催 (H26.9.23, 24) 山梨県リーニア見学会センター, 中央道高架橋劣化, 三才山トンネル, 鹿教湯大橋, 平三水橋, 松代大本営地下壕等, 参加者 44名, ⑦JCD 発行のメールかわら版支援	①第11階定時総会 (H27.5.26), ②11月に石川県地区において, 石川診断士会と共催で見学会開催, ③8月と11月に技術セミナー開催, ④11月の技術セミナーは設立10周年記念事業と位置づけし, 専門家の講演と記念式典を計画, ⑤設立10周年を記念しTCD10年の歩み(仮題)作成, ⑥技術セミナーでは橋梁・トンネルの点検, 診断を目的とした内容を検討する, ⑦JCD業務体験発表会へ2件発表, ⑧会員増対策, ⑨部会員増対策, ⑩HP 充実
石川県コンクリート診断士会 (石川県)	平成18年6月 員数(427.4) 正会員: 84名 賛助会員: 10名 法人: 11社	①平成26年度通常総会 (H26/5/20) 「コンクリートのミクロとランダム」(金沢大学 五十嵐 教授), ②現場研修会 (H26/9/4) 「山上新・一の宮大橋補修工事 (RC床版補修工, 床版防水工, 舗装修繕工事)」, ③技術セミナー (H26/7/29) 「インフラの維持管理はどにかうのか〜「維持管理の為の種々の動向」(住友大阪セメント 峰松氏), 「コンクリート構造物の性能を評価する技術」(富山県立大学 伊藤准教授), パネルディスカッション ④会員による診断事例講習会 (H27.2.27), ⑤「コンクリート診断士受験講座」後援 (H26.6.26)	①平成27年度通常総会および特別講演会 (H27.6.5予定) ②JCD業務体験発表会後援 (H27.11.27予定) ③TCD&JCD 共催 現場見学会 (H27.11.28予定) ④技術セミナー (技術講習会) (H27.7月〜8月頃予定) ⑤現場研修会 (H27.9〜10月頃予定) ⑥コンクリート診断士受験講座 (H27.6予定) ⑦金沢大学 SIP (戦略的イノベーション創造プログラム) WG への協力活動
NPO 法人 大分県コンクリート診断士会 (大分県)	平成18年8月 員数(427.3) 個人: 72名 法人: 0社	①第8回 受験対策通信講座: H26.5〜H26.7 受講者 3名, ②第9回 通常総会: H26.5.22, ③第16回 技術講演会: H26.5.22 (会員限定) 参加者 46名, ④第17回 技術講習会 (一般公開): H26.9.29 参加者 330名, ⑤第6回 現場見学会 (大分県) (一般公開) H26.11.21 参加者 30名, ⑥理事会: 計8回, ⑦会員交流会: 計3回, ⑧調査診断: 報告書1件, ⑨広報活動: ホームページの更新など	①第9回 受験対策通信講座: 受講者 10名予定, ②第10回 通常総会: H27.5.29, ③第18回 技術講習会: (会員) 参加者 50名予定, ④第19回 技術講演会 (一般) 参加者 200名予定, ⑤第6回 現場見学会 (一般) 参加者 30名予定, ⑥理事会: 計8回程度, ⑦会員交流会: 計4回程度, ⑧調査診断: 報告書1件程度, ⑨広報活動: ホームページの更新など
静岡コンクリート診断士会 (静岡県)	平成18年12月 員数(427.3) 個人: 57名 法人: 13社	①5/18, 19「受験対策講座」受講者 21名, ②5/29 県講師派遣「主査・副班長級研修」, ③6/27 総会・技術研修会 (国, 県, 市より 130名出席), ④7/10 土木地工監理技士へ講師派遣, ⑤9/23 TCD 合同見学会 (長野), ⑥10/10「秋の研修会」45名, ⑦10/23 県講師派遣「法面対策」, ⑧11/20 業務体験発表会, ⑨12/4 JCD 見学会 (名古屋大学) 参加者 4回/年	5/19, 20「受験対策講座」, 6/16 県講師派遣「主査・副班長級研修」, 6/26 総会・技術研修会, 10月「秋の研修会」, 平成28年1月県講師派遣「法面対策」

会 社 名 称 (地域)	設立年月 会員数(年月) (個人) : 名 (法人) : 社	平成 26 年 度 活 動 報 告	平 成 27 年 度 活 動 計 画
青森県コンクリート診断士会 (青森県)	平成 18 年 9 月 会員数 (H27. 48) 学術 : 2 名 個人 : 46 名 (法人・個人 : 1 名)	H26. 5. 13 総会及び技術講習会 開催 ①特別講演「コンクリート構造物の品質確保の取り組みについての話題提供」 八戸工業大学 土木建築工学科 教授 阿波 稔 ②診断事例紹介 1) 01 割れのエポキシ注入・その後 2) 火害を受けたコンクリートの品質調査 参加者 : 31 名 H27. 10. 30 JCI 東北支部 主催「コンクリート診断士の技術研鑽のための講習会」 青森県コンクリート診断士会及び宮城県コンクリート診断士会共催 「復興道路 国道 45 号 三陸沿岸道路 釜石山田道路」見学会 国土交通省 南三陸国道事務所 佐藤所長 同行解説 参加者 : 53 名 H26. 11. 28 勉強会 「三陸沿岸道路におけるコンクリート構造物の透気係数による表面状態の品質について」参加者 : 17 名 ①平成 26 年通常総会 (H26. 6. 7) 出席者 25 名, ②第 2 回コンクリート診断士受験対策講座 (H26. 5. 31 ~ 6. 1) 参加人数 29 名, ③第 5 回コンクリート技術研修会 (H26. 9. 12) 参加者 211 名, ④役員会 (H. 25. 4. 1 ~ H26. 3. 31) 計 8 回開催, ⑤広報活動 (通年を通じて新規参入会員の誘致), ⑥高知県建設技術公社主催, 高知県土木施工管理技士会への講師派遣	H27. 5. 19 総会及び技術講習会 特別講演「表層部の品質と耐久性」 八戸工業大学 土木建築工学科 教授 月永洋一 H27. 10 予定 JCI 東北支部 主催「コンクリート診断士の技術研鑽のための講習会」開催 予定 (青森県コンクリート診断士会共催) H27. 11 勉強会開催予定
高知県コンクリート診断士会 (高知県)	H20. 8. 1 会員数(個人) : 33 名 (H27. 4. 30)	①平成 26 年通常総会 (H26. 6. 7) 出席者 25 名, ②第 2 回コンクリート診断士受験対策講座 (H26. 5. 31 ~ 6. 1) 参加人数 29 名, ③第 5 回コンクリート技術研修会 (H26. 9. 12) 参加者 211 名, ④役員会 (H. 25. 4. 1 ~ H26. 3. 31) 計 8 回開催, ⑤広報活動 (通年を通じて新規参入会員の誘致), ⑥高知県建設技術公社主催, 高知県土木施工管理技士会への講師派遣	①平成 27 年通常総会 (H27. 5. 16), ②現場研修会 (H27. 5. 22), ③コンクリート診断士受験対策講座 (H27. 6. 13 ~ 6. 14), ④第 6 回コンクリート技術研修会 (H27. 9. 25), ④役員会 (随時), ⑤広報活動 (新規有資格者の入会誘致), ⑥他地区コンクリート診断士会との交流参加, ⑦講習会への講師派遣 左記により未定
京滋コンクリート診断士会 (京都府, 滋賀県)	平成 20 年 8 月 個人 : 84 名 法人 : 16 社	本会の会計年度は, 2014. 10. 1 ~ 2015. 9. 30 までのため, 完了報告はできません。今期は, 研修会 2 回, 現地研修会 1 回を計画している。 ①第 6 回通常総会 (H26. 10. 31) ②第 15 回研修会 (H27. 7. 24 予定)	①第 8 回通常総会 (H27. 6. 25 予定), ②講演会 1 回 (H27. 6. 25 予定), ③技術セミナー 2 回 (H27. 10, H28. 2 頃), ④診断士普及講習会 1 回 (H27. 11 頃), ⑤外部研修会への講師派遣 3 回程度, ⑥現場見学会 (計画なし), ⑦役員・幹事会, ⑧技術部会, ⑨広報活動, ⑩アンケート調査
新潟県コンクリート診断士会 (新潟県)	平成 20 年 10 月 会員数 (H27. 6) 個人 : 108 名 法人 : 14 社	①第 7 回通常総会 (H26. 7. 8), ②講演会 (H24. 7. 8), ③技術セミナー (H26. 10. 17), ④診断士普及講習会 (未開催), ⑤外部研修会への講師派遣 (H26. 8. 29 他 3 回), ⑥現場見学会 (H26. 11. 18), ⑦役員・幹事会 (H26. 4. 25 他計 6 回), ⑧技術部会 (H26. 5. 15 他計 3 回), ⑨広報活動 (随時)	①第 7 回通常総会 (H27. 4. 22), ②コンクリート診断士技術研修会 3 回 (H27. 6. 8 ~ 11 予定), ③講演会 (H27. 4. 22), ④診断士普及講習会 (H27. 5 予定), ⑤現場研修会 1 回 (H27. 9 予定), ⑥役員会, ⑦技術部会, ⑧広報活動, ⑨アンケート調査
北海道コンクリート診断士会 (北海道)	平成 21 年 1 月 会員数 (H27. 4) 個人 : 136 名 法人 : 25 社	①平成 26 年通常総会 (H26. 4. 17), ②講演会 (H26. 5. 26), ④第 1 回コンクリート診断士技術研修会 (H26. 9. 18), ⑤第 2 回コンクリート診断士技術研修会 (H26. 11. 18), ⑥役員・幹事会 (未開催), ⑦外部研修会への講師派遣 (H26. 8. 29 他 3 回), ⑧現場見学会 (H26. 11. 18), ⑨役員・幹事会 (H26. 4. 25 他計 6 回), ⑩技術部会 (H26. 5. 15 他計 3 回), ⑪広報活動 (随時)	①技術研修会 (名古屋大学名誉教授 谷川先生・セメント協会 橋永 敏) (H27. 4. 17), ②平成 27 年度東海コンクリート診断士会通常総会 (H25. 5. 22), ③コンクリート診断士試験受験講座 (H27. 6. 2 予定), ④業務報告会 (H25. 9 予定), ⑤東海コンクリート診断士会・ME の会合同研修会 (H26. 11 予定), ⑥幹事会 (H26. 12 予定), ⑦幹事会 (H28. 3 予定)
東海コンクリート診断士会 (愛知県, 岐阜県, 三重県)	平成 22 年 6 月 会員数 (H27. 4) 個人 : 84 名 法人 : 8 社	①平成 26 年度東海コンクリート診断士会通常総会 (H26. 5. 30), ②東海コンクリート診断士会受験対策講座 (H26. 7. 1), ③平成 26 年度東海コンクリート診断士会・ME の会合同研修会 (1. 繊維補強コンクリートの優位性と課題 岐阜大学教授 国枝稔様・2. 補修補強および落橋防止構造について (剛エスティー技術部長 中井 様・3. フォロワーアップ研修活動のご紹介 ~ 橋梁点検演習 ~ ME の会飛脚地城部会 岡山様・4. インフラ保全におけるデジタル画像支援システムの現状と展開 (中部 EBN 代表取締役 衣笠様) (H26. 9. 13), ④東海コンクリート診断士会 幹事会 (H26. 12. 6), ⑤東海コンクリート診断士会 幹事会 (H26. 3. 19)	①技術研修会 (名古屋大学名誉教授 谷川先生・セメント協会 橋永 敏) (H27. 4. 17), ②平成 27 年度東海コンクリート診断士会通常総会 (H25. 5. 22), ③コンクリート診断士試験受験講座 (H27. 6. 2 予定), ④業務報告会 (H25. 9 予定), ⑤東海コンクリート診断士会・ME の会合同研修会 (H26. 11 予定), ⑥幹事会 (H26. 12 予定), ⑦幹事会 (H28. 3 予定)
長野県コンクリート診断士会 (長野県)	平成 22 年 8 月 会員数 (H27. 4. 1) 個人 : 65 名 (法人会 員の会員も含む) 法人 : 社	・研修会開催 (通常総会記念講演), 研修会案内, 東京長野県コンクリート診断士会合同見学会 ・HP 活用, 情報発信・広報用パンフレットの活用, 各診断士会との連携 ・行政からの助言依頼。(中野市)	・研修会開催 (総会記念講演), 各団体の協賛研修会 (JCI, 長野県工業組合) ・HP 活用, 各診断士会との連携 ・技術向上研修会, 現場見学会の開催, ・ホームページへ「Q&A」活用 ・会員主催研修会, JCI および本部との連絡事務
広島県コンクリート診断士会 (広島県)	平成 23 年 7 月 22 日 会員数 (H27. 3) 正会員個人 : 73 名 賛助会員 (法人) : 24 社	①第 4 回通常総会 (H26. 6. 11), ②特別講演 (H26. 6. 11) 大久保雅彦 中国地方整備局 道路保全企画官「橋梁維持管理における昨今の話題」, ③診断士普及講習会 : 講師派遣 広島県測量設計業協会主催 コンクリート構造物の維持管理講習会 (H26. 5. 19), ④現場研修会 (H26. 6. 4) 広島市 大洲貯留雨水池現場研修会 (H26. 4. 9) 「第 1 回コンクリート探偵会」, ⑤役員会 (H26. 隔月計 6 回), ⑥技術研修会 (H26 年例) サロン 隔月計 5 回, ⑦その他 (H27. 4. 16) 第 2 回コンクリート探偵会 (合同回) 探偵会 (合同回) 探偵会 (広島市内で実施 (探偵員 6 名, 通行人 0 名))	①第 5 回通常総会 (H27. 6. 予定), ②技術研修会 5 回 (隔月予定), ③講演会 1 回 (第 5 回通常総会時予定), ④診断士普及講習会 : 講師派遣 広島県測量設計業協会主催 コンクリート構造物の維持管理講習会 (H27. 5. 13 予定), ⑤現場研修会 2 回 (予定), ⑥役員会隔月 6 回予定
宮城県コンクリート診断士会 (宮城県)	平成 25 年 6 月 会員数 (H27. 4) 個人 : 97 名 法人 : 53 社	①コンクリート診断士試験対策会第 1 回 (H26. 6. 24) ②コンクリート診断士試験対策会第 2 回 (H26. 7. 16), ④小戸の橋振動実験 (H26. 9. 30) ⑤相振橋振動実験 (H27. 2. 6)	①コンクリート診断士試験対策会第 1 回 (H27. 6. 3) ②通常総会 (H27. 6. 18), ③JCI 業務体験発表会への会員派遣 (H27. 11) ④セメント系補修材講習会 (H27. 11), ⑤検査機器研修会 (H28. 1)

Eメールで送付
システム
宛先: 宮城県

備忘録
2023/10/18
10/18/2023

報告 (2) 会員数等報告

個人会員数 (27. 4. 1 現在)

No.	名 称	学術	正(法)	賛(法)	正	賛助	合計
1	福井県コンクリート診断士会	0			102	2	104
2	鳥取県コンクリート診断士会	2			35	0	37
3	島根県コンクリート診断士会	1			74	0	75
4	東京コンクリート診断士会	2	20	6	159	2	189
5	石川県コンクリート診断士会	0			72	8	80
6	NPO 法人 大分県コンクリート診断士会	1	1	0	70	0	72
7	青森県コンクリート診断士会	2	1	0	46	0	49
8	静岡コンクリート診断士会	0			61	0	61
9	京滋コンクリート診断士会	0	2	0	13	1	16
10	高知県コンクリート診断士会	2			33	0	35
11	新潟県コンクリート診断士会	2			105	5	112
12	長野県コンクリート診断士会	2	2	1	47	13	65
13	北海道コンクリート診断士会	0	4	1	118	13	136
14	東海コンクリート診断士会	1	1	2	68	20	92
15	広島県コンクリート診断士会	2			77	0	79
16	宮崎県コンクリート診断士会	1			33	61	95
17	直接入会会員		1		10	1	12
	合計	18	32	10	1123	126	1309

法人会員数 (26. 5. 23 現在)

No.	法人会員 R	会員数	法人登録会員	
			正会員	賛助
1	ランク SA	0	-	-
2	ランク A	13	11	4
3	ランク B	9	8	2
4	ランク C	49	13	4
	合計	71	32	10

報告(3) 参加委員会活動報告

(1) 26年度サステナビリティ委員会・サステナビリティフォーラム活動報告

26年度のサステナビリティフォーラムの活動の概要(委員会開催月日+主な議題)を以下に示す。

第11回 2014年4月23日

- ① 前回議事録確認
- ② 報告書について
 - ・ 生物環境・地域環境(天野)
 - ・ 長寿命化(木村)
 - ・ 資源循環(今井)
 - ・ コミュニケーション(今井)
- ④ メディア対応

第12回 2014年6月12日

- ① 交代委員の紹介
- ② 前回議事録確認
- ③ 講習会の開催について
- ④ メディア用データについて

第13回 2014年8月21日

- ① 前回議事録確認
- ② 報告書について
 - ・ 報告書1章「はじめに」(塚)
 - ・ 報告書4章「生物環境・地球環境の保全・向上」(天野)
 - ・ 報告書6章「社会資本の長寿命化」(木村)
- ③ メディア用原稿・データについて

第14回 2014年10月09日

- ① 前回議事録確認
- ② 講習会について
- ③ 報告書について
 - ・ 報告書「1. サステナビリティとは」(塚)
 - ・ 報告書「3. 資源消費とCO₂排出」(高橋茂)
 - ・ 報告書「4. 資源循環」(小山田)
 - ・ 報告書「5. 生物環境・地域環境」(天野、柴崎)
 - ・ 報告書「6. コミュニケーション」(小山田)
 - ・ 報告書「7. 社会資本の長寿命化」(木村)
 - ・ 報告書「8. 国際展開」(高橋茂)
 - ・ 報告書「9. 人材育成」(野口)
- ④ 今後の報告書の修正

コンクリートサステナビリティフォーラム講習会(2014年11月14日)

- ① 同上フォーラムが東京大学 情報学環・福武ホールで開催された。

第15回 2015年1月16日

- ① 前回議事録確認
- ② 各業界・各団体について
- ③ サステナビリティフォーラムの今後の展開について

27年度の活動として、次の事項を目標に進めることとなった。

- ・ 各業界・各団体の現状を見つめ直し、確実に社会に貢献しているという現実を正しく社会に発信していく必要がある。
- ・ 内部であるコンクリート関連の各業界（セメント、混和材、混和剤、骨材、生コンクリート）、ならびに外部である設計事務所の意匠設計者（または建築家）およびデベロッパーと意見交換を実施する。

フォーラムの構成：委員 10名

以上

(2) 26年度インフラドック構築フェージビリティ調査研究委員会活動報告

JCI-TC125 コンクリート構造物のインフラドック構築フェージビリティ調査研究委員会

コンクリート構造物の最先端診断技術に関する シンポジウム -参加募集-

開催日:2015年7月30日(木)

主催: 公益社団法人 日本コンクリート工学会

後援: 日本建築学会、土木学会、セメント協
(予定) 会、日本材料学会、全国生コンクリート
工業組合連合会、日本コンクリート診断
学会

21世紀はサステナブル社会の世紀であり、長寿命化のコンセプトは人間のみならずインフラ施設でも重要です。したがって、コンクリート施設建設物の維持管理および点検・診断のための技術と制度の整備が必要で、「人間ドック」と同様な予防保全を目的とする「インフラドック」の構築が持続可能なコンクリート構造物維持のため急務と考えられます。

日本コンクリート工学会 TC 125 FS「コンクリート構造物のインフラドック構築フェージビリティ調査研究委員会」(委員長:大津政康・熊本大学)では、コンクリート構造物のインフラドック構築のための点検技術として現場計測法の整備を図り、インフラドックに有用な検査法の整理・提案を早急に行うこと(WG1)、インフラドックでの業務の内容を確立すること(WG2)、それを担当するドクター制度の整備(WG3)を目的に研究活動を行ってまいりました。

その成果については、既に、2013年3月にインフラドック制度の確立に向けた委員会の中間報告と、会員の皆様と実務に向けた意見交換を目的にフォーラムを実施しました。これを踏まえ、これまでの成果報告会と併設しまして、最先端診断技術に関するシンポジウムを企画いたしました。関係各位お誘いのうえ、ふるってご参加くださいますようお願い申し上げます。

記

1. 開催日時: 2015年7月30日(木)9:30~16:30
2. 開催場所: 東京理科大学秋葉原記念館第1フォーラム
(〒162-0825 東京都新宿区神楽坂4-2-2)
3. プログラム予定:

9:30~9:35	開会挨拶 大津政康(熊本大学)
-----------	--------------------

<一般論文発表1>

- | | |
|------------|-----------------------------|
| 9:35~10:35 | 最先端検査技術
司会 大野健太郎(首都大学東京) |
|------------|-----------------------------|
1. 構造物診断のためのABTモグラフィ法の開発
桃木昌平、塩谷智基、小林義和
 2. 衝撃弾性波法を用いた劣化評価指標に関する実験的検討
渡辺健、山口晋堂、橋本規典、塩谷智基
 3. SIBIEにおける弾性波入力装置の校正とグラウト未充填評価法に関する研究
吉良美咲、水井勇輔、廣田遼次、佐藤京介、大津政康

4. Quantification of the concrete surface deterioration with a Rayleigh wave based technique
K. C. Chang, T. Shiotani, T. Matsui, H. Yatsamoto
5. AE法によるRC中の鉄筋腐食とコンクリート中の空洞を識別し得る特別の破壊進展評価
川崎佑磨、北川雅樹、岸村拓夫、伊津野和行、岡本享久

10:35~10:45 <休憩>

<一般論文発表2>

10:45~12:00 非破壊評価技術

司会 濱崎仁(芝浦工業大学)

6. 仮止めアンカーを用いた鋼板接着工法のコンクリート内部劣化調査方法
小橋紀彦、八ツ元仁、黒川淳、塩谷智基
7. たわみ尺場を用いた中性化・非接触音響深査法
杉本直美、杉本和子、歌川紀之、片倉景茂
8. 孔内局部載荷試験による省造物深部方向のコンクリート材性の評価
皿沼博典、田中徹、澤口啓希
9. ひび割れコンクリートのX線CT画像と速度層の合成による定量的損傷度評価
鈴木哲也、山岸俊太郎、塩谷智基
10. RC床版の劣化条件へのAE法の適用性に関する基礎的研究
後藤大地、中山宏、Toumakar Surender Babadur, Chang Kai Chun、塩谷智基、大原悠志、八ツ元仁
11. 非接触弾性波法による接着剤およびアンカー埋設部の接着剤充填状況の非破壊評価手法
内田慎哉、宮田弘和、岡本享久、劉軒、山田清香、鈴木和也

12:00~13:00 <休憩>

<一般論文発表3>

13:00~14:15 評価・診断技術

司会 奥邊勉(徳島大学)

12. 実構造物を対象とした分極電位測定により求めた腐食速度に基づく鉄筋腐食量の推定について
速見徹、奥合光司、松島孝
13. 画像解析によるコンクリート構造物の調査・診断の合理化支援技術
木村正彦、衣笠真司、川内昌
14. 種々の充填剤パラメータを用いたグラウト充填度評価
大澤智、塩谷智基、Chang Kai Chun、川口宏、木島久人、柁木正孝
15. 災害と災害で複合劣化したRC構造物の維持管理限界に関する研究
水田真紀、野々村悠智、嶋田久俊、島多昭典
16. 寒冷地橋梁における洗浄・簡易修繕機能を有する近接目視代替検査ロボットの研究開発
道井智弘、藤澤隆介、河波稔、長谷川誠、金子賢治、川永洋一
17. 国立西洋美術館本館コンクリート躯体の保存・改修に向けた非破壊試験の適用性に関する研究
御開舞衣子、前原千鶴、今本啓一

14:15～14:25 <休憩>

<委員会報告>

14:25～15:05 インフラドック構築フィージビリティ調査研究委員会WC1報告会
司会 岡本幸久(立命館大学)

15:05～15:45 インフラドック構築フィージビリティ調査研究委員会WC2報告会
司会 今本啓一(東京理科大学)

15:45～16:25 インフラドック構築フィージビリティ調査研究委員会WC3報告会
司会 蘆谷篤基(京都大学)

16:25～16:30 閉会挨拶
大津政康(前掲)

(内容および時間は、都合により変更することがありますので、あらかじめご了承ください。)

4. 参加費: 消費税込み、配布資料(CD)含む。

正会員(個人) 8000円

団体会員^{※1}・後援団体^{※2,3,4} 10000円

会員外 12000円

学生^{※5} 4000円

※1 本学会団体会員の役員・職員

※2 後援団体の個人会員および役員・職員

※3 セメント協会加盟会社の役員・社員および同協会の役員・職員

※4 全国骨コンクリート工業組合連合会、各県骨コンクリート工業組合およびその組合員会社の役員・職員

※5 学生の方は学生証のコピーを申込み時に必ず同封してください。

5. 申込方法:

1) 参加費を郵便局備付の払込取扱票にて下記口座へ払い込みください(払込手数料は申込者にてご負担願います)。

振替口座番号:00120-5-99133

(加入者名:公益社団法人日本コンクリート工学会)

*通信欄にシンポジウム名・参加者氏名を必ず明記してください。

*納入された参加費は、定員に達しお断りした時以外はお返しいたしませんので、あらかじめご了承ください。

2) [参加申込書](#) ([fing/order_150619_150730.pdf](#)) に必要事項を記入のうえ、前記1)で郵便局から発行される払込受領証のコピーを貼付し、送付先を明記した82円切手貼付の返信用封筒を同封し、下記申込先へ郵送してください。おり返し同封の返信用封筒によりお返状をお送りします。

6. 申込締切: 定員(100名)になり次第、締め切らせていただきますので、お早めにお申し込みください。

7. 申込先: 〒102-0083 東京都千代田区麹町1-7 相互半蔵門ビル12F

公益社団法人 日本コンクリート工学会

「診断技術シンポジウム」係(担当:井上)

TEL:03-3263-7204/FAX:03-3263-2115

E-mail: noue@jci-net.or.jp (<mailto:tcinoue@jci-net.or.jp>)

以 上

報告(4) JCD 理事・監事・幹事 一覧

役職	役職	氏名	所属診断士会名	地区の会役職	備考
代表理事	会長	林 静雄	東京コンクリート診断士会	学会会員	
理事	副会長	小野 定	東京コンクリート診断士会	会長	JCD 幹事兼任
理事	副会長	佐藤 嘉昭	NPO 法人大分県コンクリート診断士会	理事長	
理事	企画部会部会長	石川 裕夏	福井県コンクリート診断士会	会長	
理事	企画部会副部会	原田 隆敏	高知県コンクリート診断士会	会長	
理事	企画部会副部会	岡崎 勝信	宮崎県コンクリート診断士会	事務局長	
理事	技術部会部会長	奥田 由法	石川県コンクリート診断士会	相談役	
理事	技術部会副部会	奥村 智洋	鳥取県コンクリート診断士会	会長	
理事	技術部会副部会	米倉壱州夫	広島県コンクリート診断士会	会長	
理事	広報部会部会長	名倉 昭三	静岡コンクリート診断士会	会長	
理事	広報部会副部会	日堂 俊之	長野県コンクリート診断士会	会長	
理事	広報部会副部会	岸川 英樹	京滋コンクリート診断士会	事務担当	
理事	会員部会部会長	奈良 裕	青森県コンクリート診断士会	会長	
理事	会員部会副部会	田沢 雄二郎	東京コンクリート診断士会	副会長	JCD 幹事兼任
理事	財務部会部会長	井田 豊	島根県コンクリート診断士会	会長	
理事	財務部会副部会	竹内 祥一	東海コンクリート診断士会	会長	
理事	事務局長	毎田 敏郎	東京コンクリート診断士会	役員事務局次	JCD 幹事兼任
監事	監事	伊藤 司郎	新潟県コンクリート診断士会	副会長	
監事	監事	田畑 雅幸	北海道コンクリート診断士会	副会長	

幹事	(企画支援)	重松 和男	東京コンクリート診断士会	監査役	
幹事	(技術支援)	峰松 敏和	東京コンクリート診断士会	事務局長	
幹事	(技術支援)	星野 富夫	東京コンクリート診断士会	技術部会長	
幹事	(広報支援)	篠川 俊夫	東京コンクリート診断士会	広報部会長	
幹事	(広報支援)	降矢 良男	東京コンクリート診断士会	広報副部会長	
幹事	(広報支援)	仲田 昌弘	東京コンクリート診断士会	会員部会長	
幹事	(広報支援)	小林 剛	東京コンクリート診断士会	監査役	
幹事	(広報支援)	天野 智雄	静岡コンクリート診断士会	幹事	
幹事	(事務局支援)	木村 克彦	東京コンクリート診断士会	企画部会長	
幹事	(技術支援)	山田 淳	東京コンクリート診断士会	技術部会員	

以上

今後、倫理責任の観点から、専門技術者の育成が重要

新潟地域におけるインフラの維持管理 ～技術者育成の取組と今後の展望～

日本コンクリート診断士会総会特別講演

平成27年5月26日

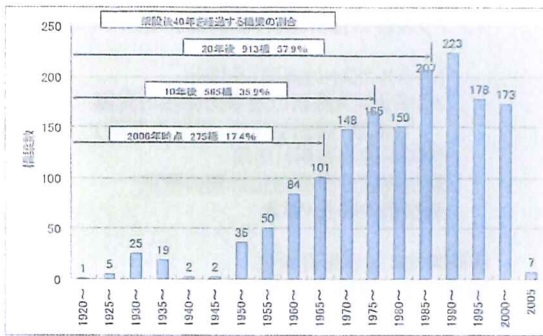
長岡技術科学大学名誉教授
丸山 久一

1. 背景
2. 維持管理の現状
3. ME新潟
4. 今後の方向

Maintenance Expert

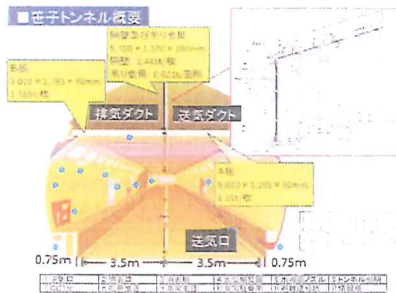
1. 背景

高齢化する社会資本



EUターミネーション
near 200m以内
復元工費 30,000円/1sqm

中央自動車道笹子トンネル崩落事故



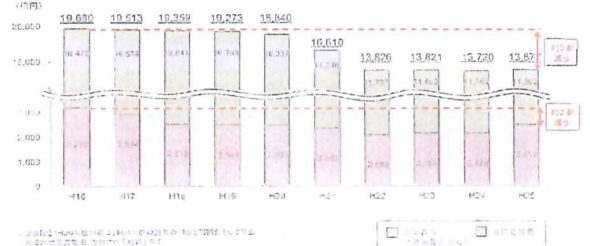
平成24年12月2日（日）発生

維持管理の観点から
復元工費の削減

直轄維持修繕費の推移等

10年間で、直轄道路事業費は約3割減少
維持修繕費は、本来ならば増やすべきところ、約2割減少

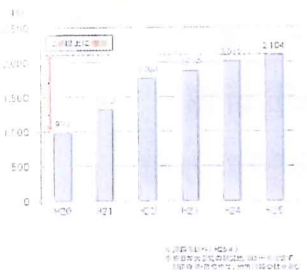
直轄の道路事業費全体と維持修繕費の推移



通行規制橋梁の増加

地方公共団体管理橋梁では最近5年間で通行規制等の増幅2倍以上に増加

■地方公共団体管理橋梁の通行規制等の増幅2倍以上



2015年1月31日午後5時10分ごろ、静岡県浜松市内の天竜川に架かる国道473号原田橋が、付近で発生した土砂崩れの影響で落橋した。橋上に車を止めて斜面を監視していた同市天竜土木整備事務所の職員2人が死亡。約15m下流側で建設している新橋にも、架設中の桁が落下するなどの大きな被害が出た。



行政の責任を車道業者に、類格的に面折止
めれば

国土交通省の重点政策2014

6. 国民の安全・安心の確保

(2) 老朽化対策

インフラ長寿命化計画(行動計画) 2014年5月策定

トータルコストの縮減・平準化
メンテナンス産業の競争力確保の実現
(点検・診断や修繕・更新の実施)
情報基盤の整備と活用
個別施設の長寿命化計画の策定
新技術の開発・導入

予防保全による長寿命化
資格制度の充実(民間資格の活用)



道路の老朽化対策の本格実施に関する提言 概要

【1】道路インフラを徹底的に点検

(1) 道路インフラの現状
国土交通省の調査によると、道路インフラの老朽化が進んでいる。特に、道路の劣化が深刻な地域が増えている。また、道路の点検体制も不十分である。

(2) 老朽化対策の課題
道路の老朽化対策には、点検体制の強化が不可欠である。また、点検結果に基づいた適切なメンテナンスの実施が求められる。

(3) 現状の課題(2つの根本的課題)
① 点検体制の強化
② メンテナンス体制の強化

【2】国土交通省の取組みと目指すべき方向性

(1) メンテナンス体制の取組み
国土交通省は、道路のメンテナンス体制を強化し、道路の老朽化対策を推進している。具体的には、点検体制の強化、メンテナンス体制の整備、点検結果に基づいた適切なメンテナンスの実施などを行っている。

(2) 目指すべき方向性
国土交通省は、道路のメンテナンス体制をさらに強化し、道路の老朽化対策を推進していくことを目指している。

【3】具体的な取組み

(1) メンテナンス体制を強化(道路管理の高度の刷新)
各道県管理の員を以下にメンテナンス体制を強化
① 点検体制の強化
② メンテナンス体制の強化
③ 点検結果に基づいた適切なメンテナンスの実施

(2) メンテナンス体制を強化(道路管理の高度の刷新)
メンテナンス体制を強化し、道路の老朽化対策を推進していくことを目指している。

【4】具体的な取組み

(1) 点検体制の強化
① 点検体制の強化
② 点検結果に基づいた適切なメンテナンスの実施

(2) メンテナンス体制の強化
① メンテナンス体制の強化
② 点検結果に基づいた適切なメンテナンスの実施

新潟県道路メンテナンス会議を設立

会議の概要

- 目的
道路施設の点検や修繕・更新等について、全ての道路管理者が相互に連絡・調整を行い、関連情報の共有により、その実態を把握し、国民の理解を得ながら、協力して道路施設の老朽化対策の強化を図ることを目的とする。
- メンバー
・県内の国、県、市町村、高速道路会社の道路管理関係者で構成。
・会長は新潟県道事務所長、副会長は新潟県土木部道路管理課長、新潟県土木部土木総務課長、東日本高速道路株式会社新潟支社新潟管理事務所長。
構成員は市町村の担当部長クラス。
- 主な取り組み
 - ① 研修・基準類の説明会等の調整
 - ② 点検・修繕を進める仕組みに関する調整(跨橋橋点検時の関係機関との協議に関する支援等)
 - ③ 点検・措置状況の集約、評価、公表
 - ④ 点検業務の発注支援(地域一括発注等)
 - ⑤ 技術的な相談対応
 - ⑥ 道路の老朽化対策に関する理解促進 等

2. 維持管理の現状

地方自治体の課題

1. 管理しているインフラ施設（例えば橋梁数）は膨大な数
2. 十分な維持管理経費がない。
3. 維持管理技術者が少ない。

北陸地方の特性

塩害（コンクリート構造物の劣化）、
地盤災害、河川災害、雪害等が厳しい。

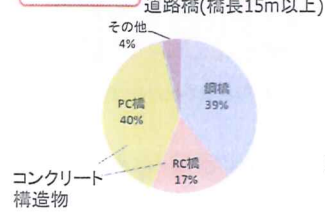
近接目視

地方公共団体の現状(管理橋梁数)

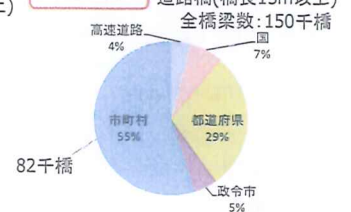
全国の橋梁数

鉄道橋: 93,162橋 平成8年度(JR全社)
道路橋: 672,909橋 平成14年度 道路統計年報より(橋長2m以上)

構造種別



管理主体

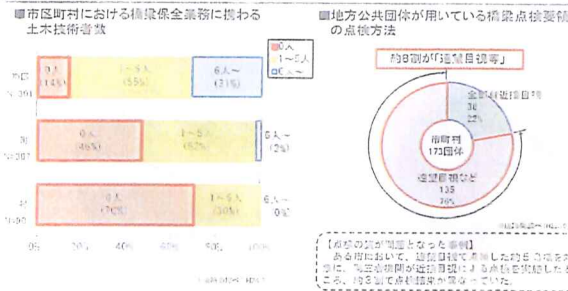


出典: 道路統計年報2007

鋼橋の劣化は Maintenance
の必要と RCが半減的

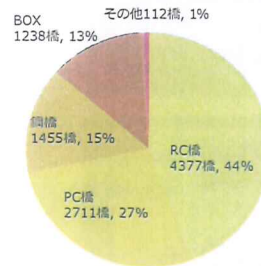
地方公共団体の現状(技術者、点検方法)

町の約5割、村の約7割で橋梁保全業務に携わっている土木技術者が存在しない
地方公共団体の橋梁点検要領では、遠望目視による点検も多く(約8割)、点検の
質に課題あり



新潟県の現状(管理橋梁数等)

- ・ 県内30市町村中、26市町村が管理する9893橋



15m未満割合 (内数)	
RC橋	98% (4290橋)
PC橋	74% (1994橋)
鋼橋	32% (466橋)
BOX	99% (1228橋)

- ・ 15m未満の橋: 81% (8062橋)
- ・ コンクリート橋かつ橋長15m未満: 76% (7512橋)

新潟県内の橋梁数

	総数	≥14.5m	<14.5m
新潟県	3,814	1,441	2,373
新潟市	4,093	638	3,455
29市町村	11,838	2,347	9,491
合計	19,745	4,426	15,319

北陸地整(県内のみ) 1,007

(54) 4000円/年 40部/日
200日

国の橋梁長寿命化修繕計画を受けて

必要な予算

近接目視点検の費用
=約50万円/5年毎
⇒ 約10万円/年

現状(市町村が管理する橋)

1橋あたりの維持管理費
= 約8万円/年

(日経コンストラクション2007年11月号より)

橋梁の長寿命化計画の策定: 国の補助

- ・ 管理橋梁の現状調査(健全度のグレード分け)
- ・ 2m以上の全橋梁は5年に1度の近接目視点検

新潟県内のトンネル数



関越トンネル



葡萄トンネル(村上市)

NEXCO管理	98	
県管理	208	北陸地整管理(全体) 87
上記以外	157	

洞門、スノーシェッド、ロックシェッド



道路付帯構造物

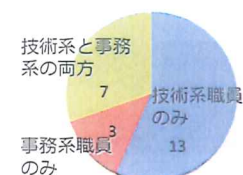
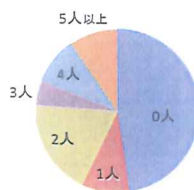


新潟県の現状(管理技術者数等)

市町村の現状 新潟県内の自治体へのアンケート結果
(23自治体が回答, 新潟県内の30市町村+新潟県)

◆ 職員の数
(橋梁の維持管理に携わる職員)

◆ 技術的な業務を行っている職員
(橋梁の維持管理に関して)



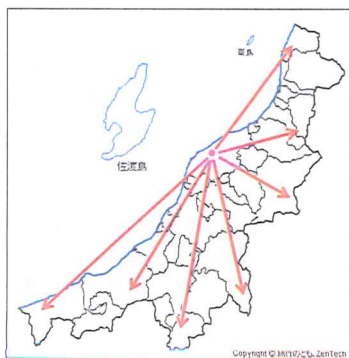
新潟県の現状(点検技術者)

新潟市にあるコンサルタント会社が県内の全橋梁を点検

- ◆ プロが点検 → 単価が高い
- ◆ 広いエリア → 移動時間が長い



コストが高くなって
しまう



北陸地方の環境



- ・日本海に面している
- ・急峻な山岳がせり出している
- ・平地は軟弱地盤層が多い
- ・冬季の豪雪地帯



親不知海岸付近(北陸自動車道)



白田切川中流を流れる土石流



被害を受けた新赤倉温泉街

昭和53年5月18日 赤倉山山腹で大規模な土砂崩壊



2011年7月の豪雨災害



雪害(国土交通省北陸地方整備局)

3. ME新潟

地方自治体の課題と展望

現状: 国の経費補助(橋梁の長寿命化修繕計画)で管理している橋梁の状態が把握できた。

課題: 修繕計画は、コンサルタントに依頼して作成したので、今後の維持管理もコンサルタント任せ。一方、一時的な予算措置で計画は策定できたが今後の維持管理を主導する技術者の不足と予算の不足は大きな問題。

地域ごとの取組は既に始まっている

○ ME養成のコンソーシアム

岐阜大学・長崎大学は10年の先行実績
ME(資格制度)
全国への展開

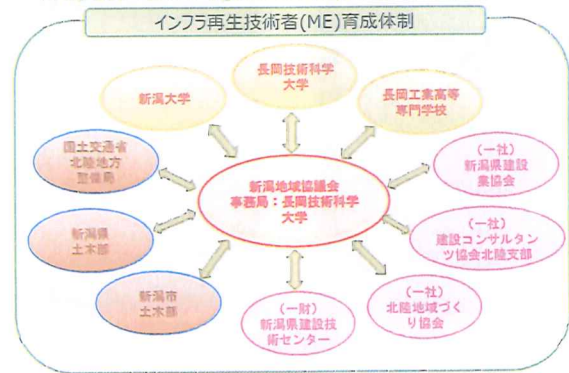
長崎大学の道守制度は国土交通省による平成26年度の民間資格の認定を受けた。



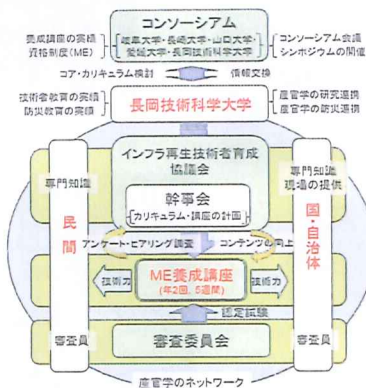
ME養成講座

- 平成26年2月 **インフラ再生技術者育成新潟地域協議会** (事務局:長岡技術科学大学)を設立
社会基盤施設の町医者とも言える技術者、地域に根付いて長期間にわたり施設の維持管理を行う技術者を育成することを目的とする
- 平成26年9月からMaintenance Expert養成講座(ME養成講座)を開設。9月から1ヶ月半で**ME新潟(構造)**を開講し、翌年5月から1ヶ月半で**ME新潟(防災)**を開講する。

インフラ再生技術者育成新潟地域協議会 (<http://struct102.nagaokaut.ac.jp/me/index.html>)



○ 養成講座の企画・実施



○ ME養成講座の展開 (スキルのカテゴリー)

スキルカテゴリーとスキル技術

★カテゴリー1(要素技術の習得)

★例:構造設計 構造設計技術を保有していれば、実際に構造設計を行うことができる

★カテゴリー2(プロセス技術の習得)

★例:点検 点検技術を保有していれば、点検要領に基づいて、損傷状況に応じた適切な点検方法を選択し、実施できる

★カテゴリー3(アセットマネジメント技術の習得)

★例:保全業務の最適化 道路管理方針や住民要求などを総合的に判断し、適切な意思決定ができる

○ ステップ・アップできる講座へ

点検業務の理解を経て、次の技術ステップへ。大学が中心となることにより、**技術的なステップ・アップ**をサポートする。

○ 産官学の協力による技術者の育成

ME養成講座では**地域のインフラ施設を守り、災害の防災・減災に努める「町医者」の育成**を目指す。産官学の受講者の横の連携を図る。

地域を守る様々な取り組みへの発展へ。

平成26年度の実施概要

1. 募集
 人数:20名
 期間:8月1日~20日
2. 応募者数58名
 職種、地域性、年齢、技術的背景等を考慮して、20名を選抜。
3. 実施期間
 9月19日(金)~10月17日(金)
4. 修了式(認証書授与)
 11月26日(木)

座学 (11日/週、28コマ講座)

カリキュラム (構造)

平成26年度ME養成講座「ME新湯(構造)」

区分	1期 (11/20(水)～11/27(水))	2期 (12/6(水)～12/13(水))	3期 (12/20(水)～12/27(水))	4期 (1/3(水)～1/10(水))	5期 (1/17(水)～1/24(水))	6期 (1/31(水)～2/7(水))	7期 (2/14(水)～2/21(水))	8期 (2/28(水)～3/6(水))	9期 (3/13(水)～3/20(水))	10期 (3/27(水)～4/3(水))	実施日
1-期	ガイダンス 長崎県土木学会 大塚 徹	北九州地方の 道路橋梁等の現状 丸山 文一	北九州地方の 道路橋梁等の現状 丸山 文一	北九州地方の 道路橋梁等の現状 丸山 文一	北九州地方の 道路橋梁等の現状 丸山 文一	北九州地方の 道路橋梁等の現状 丸山 文一	北九州地方の 道路橋梁等の現状 丸山 文一	北九州地方の 道路橋梁等の現状 丸山 文一	北九州地方の 道路橋梁等の現状 丸山 文一	北九州地方の 道路橋梁等の現状 丸山 文一	6月19日
2-期	アスファルトコンクリート による橋梁の維持管理 丸山 文一	トンネルの 維持管理 丸山 文一	トンネルの 維持管理 丸山 文一	トンネルの 維持管理 丸山 文一	トンネルの 維持管理 丸山 文一	トンネルの 維持管理 丸山 文一	トンネルの 維持管理 丸山 文一	トンネルの 維持管理 丸山 文一	トンネルの 維持管理 丸山 文一	トンネルの 維持管理 丸山 文一	6月26日
3-期	コンクリート橋とは 丸山 文一	コンクリート橋の 維持管理 丸山 文一	コンクリート橋の 維持管理 丸山 文一	コンクリート橋の 維持管理 丸山 文一	コンクリート橋の 維持管理 丸山 文一	コンクリート橋の 維持管理 丸山 文一	コンクリート橋の 維持管理 丸山 文一	コンクリート橋の 維持管理 丸山 文一	コンクリート橋の 維持管理 丸山 文一	コンクリート橋の 維持管理 丸山 文一	10月3日
4-期	鋼橋とは 丸山 文一	鋼橋の 維持管理 丸山 文一	鋼橋の 維持管理 丸山 文一	鋼橋の 維持管理 丸山 文一	鋼橋の 維持管理 丸山 文一	鋼橋の 維持管理 丸山 文一	鋼橋の 維持管理 丸山 文一	鋼橋の 維持管理 丸山 文一	鋼橋の 維持管理 丸山 文一	鋼橋の 維持管理 丸山 文一	10月10日
5-期	鋼橋とは 丸山 文一	鋼橋の 維持管理 丸山 文一	鋼橋の 維持管理 丸山 文一	鋼橋の 維持管理 丸山 文一	鋼橋の 維持管理 丸山 文一	鋼橋の 維持管理 丸山 文一	鋼橋の 維持管理 丸山 文一	鋼橋の 維持管理 丸山 文一	鋼橋の 維持管理 丸山 文一	鋼橋の 維持管理 丸山 文一	10月17日
6-期	鋼橋とは 丸山 文一	鋼橋の 維持管理 丸山 文一	鋼橋の 維持管理 丸山 文一	鋼橋の 維持管理 丸山 文一	鋼橋の 維持管理 丸山 文一	鋼橋の 維持管理 丸山 文一	鋼橋の 維持管理 丸山 文一	鋼橋の 維持管理 丸山 文一	鋼橋の 維持管理 丸山 文一	鋼橋の 維持管理 丸山 文一	10月24日

- 講座は行政および民間の技術者を対象。
週1回×4日間の28コマ講座と、半日の修了認定試験。
- 講座は座学と実習の融合。
座学ではインフラ施設の点検方法とその理論的背景についての講習、現場実習では実際の構造物を用いた点検実習。
- 養成講座を修了し、修了認定試験に合格すると
「ME新湯(構造)」の修了証を発行。
- 将来的には資格認定を目指す。(長崎大学のプログラムは平成26年度に民間資格として認定された。)



座学の様子

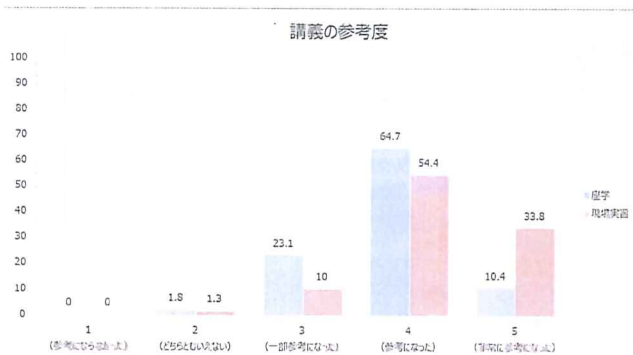
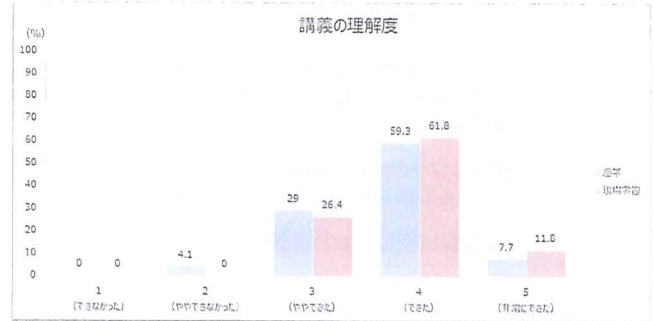


現場実習の様子



MEの効果と評価

受講者へのアンケート



座学全般に対する意見

- ・ 全体的に時間が短い、講義日数を増やしては
- ・ 講義によっては50分の時間配分をみなおしては
- ・ 表面的講義となっている。もう少し深い講義を
- ・ 補修、補強についての講義が必要
- ・ 補修、補強の施工者による講義も必要

現場実習に対する意見

- ・ 点検調書の記入をもう少し理解してからの現場実習が必要
- ・ 点検調書作成を課題(レポート)としてはどうか
- ・ 点検結果を受けどう対応したかの説明が必要
- ・ 補修、補強の現場実習があれば良い

今後の予定

1. ME新潟（防災）
人数：20名
講習期間：5月～6月
2. 第2期の実施
受講者数を増加（40名程度）
3. 将来展望
ME新潟の修了者数を500名に。
国土交通省の民間資格の認定を得る。

カリキュラム（防災）

H27 ME講習会（防災）コース						
区分	1 期 (9:00-9:50)	2 期 (10:00-11:50)	3 期 (12:00-14:30)	4 期 (14:40-17:00)	予定日	
1 期目	ガイダンス	北陸の強震・河川災害の現状と危険度 評価手法の技術向上	北陸の道路雪氷災害と防災の現状 独立行政法人国土交通省防災センター	河門・スノーシェッド点検機軸 国土交通省 建設コン北陸支部	5月15日	
2 期目	バスで飯沼へ（2時間30分）		現場実習（河門・スノーシェッド） 飯沼6号線不始用区 国土交通省 建設コン北陸支部	バスで新潟へ（2時間30分）	5月22日	
3 期目	1 期 舗道の維持管理 と点検機軸 北陸技術事務所 維持管理課長	2 期 現場実習（飯沼） 北陸内 国土交通省・建設コン北陸支部	3 期 アスファルトプラ ント見学 NPO炭竹工場	4 期 新潟県の地形・地質・気象 国土交通省・ 建設コン北陸支部	5 期 TEC-FORCEから見た 最近の災害発生状況 北陸地方整備局 防災課長	5月29日
4 期目	1 期 道路調査、点検・ 調査の維持管理の 実務 新潟県地盤調査協 会	2 期 道路調査、点検・ 調査の点検技術 新潟県地盤調査協 会	3 期 現場実習（日原田 村上IC付近） 新潟県地盤調査協 会		6月5日	
5 期目	1 期 河川構造物の防 災・維持管理の概 論 北陸地盤づくり結 合会、日本技術士会 北陸支部、建設コ ン北陸支部	2 期 河川堤防の点検技 術、補修・補強方 法 日本技術士会北陸 支部	3 期 水門・橋門の点検 技術、補修・補強 方法 日本技術士会北陸 支部	4 期 現場実習（河川構造物・堤防） 飯沼川下流河川事務所管内 国土交通省 日本技術士会北陸本 部 建設コン北陸支部	6月12日	

5. 今後の方向

「ME新潟の技術者育成方針」に基づき、新潟地域協議会の中で以下の活動を行う。

- (1) コンクリート構造物の診断技術に関するプログラムをさらに発展させるとともに、鋼構造物、地盤構造物の診断技術に関するプログラムを確立する。
- (2) 既存インフラの点検・調査について、簡易な手法を確立するとともに継続性のあるシステムを構築する。
- (3) 地域医療に類似した学官産のネットワークを確立する。

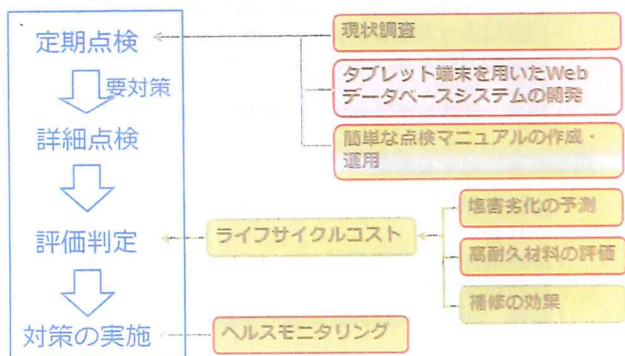
維持管理のシナリオ

- (1) 今後の供用年数を設定
= 掛け替え時点を設定
- (2) 現状の性能（耐荷性能）を評価
- (3) 性能（耐荷性能）の経時劣化を予測
- (4) 補修・補強の要否の判定

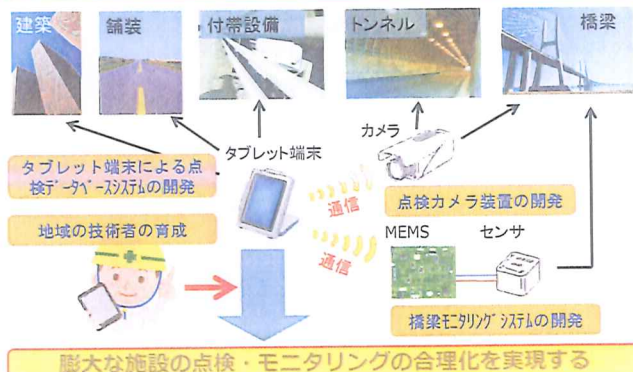
⇨ (要) 補修・補強の経時変化の予測

⇩
補修・補強工法の選定、実施
有効性確認のための追跡調査

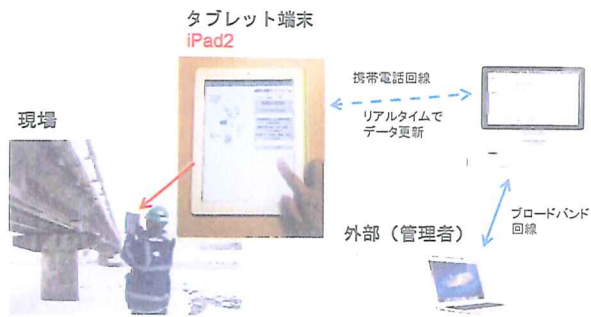
具体的な維持管理の流れ



市町村の管理する多様な構造物・施設の維持管理の問題解決

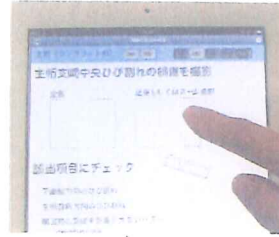


点検ツールの開発



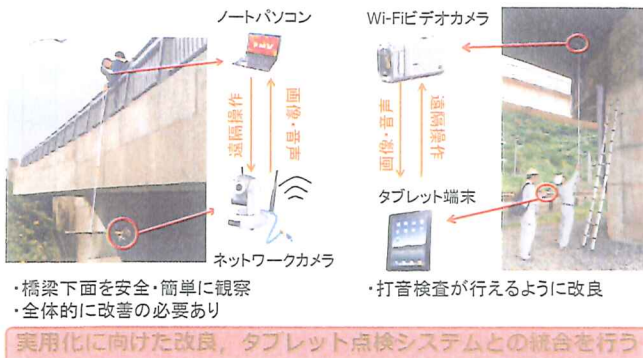
写真用の枠をタップすると...

カメラが起動。撮影画像が自動的に枠内にアップされる



対話形式のバージョンも作成中
(質を落とさず、簡易化に成功)

補助器具の開発



地域インフラの維持管理システム

地域医療

医学部
大学病院

市民病院

ホーム
ドクター

研究機関

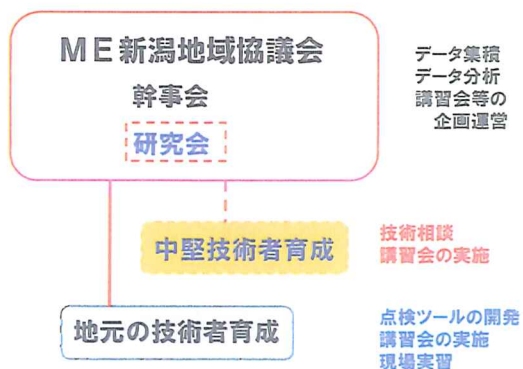
専門コンサル
タツ

地元技術者

ME新潟地域協議会

整備局 新潟県 新潟市
県建設業協会
県建設コンサルタツ協会
長岡技大 新潟大学
長岡高専
県建設技術センター
北陸地域づくり協会
技術士会北陸支部

役割



ご清聴ありがとうございました

